



市民ネットワーク議会通信

編集・発行
市民ネットワーク

〒261-0004 千葉市美浜区
高洲3-20-45 403号
Tel&Fax 043-379-4958
http://shimin-network.jp/



2022(令和4)年 千葉市議会第2回定例会 6月9日～6月24日

原油高や物価高騰等に対応する補正予算が成立

今議会では、コロナ禍に加えて物価の高騰で生活困窮に陥っている世帯への自立支援金を支給する議案が成立。また、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用した、高齢者・障害者施設等に新規入所する方へのPCR検査費の助成や保健所の体制強化、農家に対する肥料価格高騰分の補助金支給、姉妹友好都市との交流事業(モントルー市のクリスマスマーケット)を行うことなどが決まりました。(岩崎明子)



山田京子 松井かよ子 岩崎明子
(若葉区) (美浜区) (若葉区)

市民ネットワークが討論で言及した他の事業

- 千葉市美術館収蔵作品を令和7年度までにデジタル化。スマホで聞ける無料音声ガイドの導入
- 千葉公園体育館駐車場の供用が来年8月に遅延
- 桜木霊園に指定管理者制度を導入
- 千葉市内に新たに事業所を賃借する企業に移転費用等を補助
- 地産地消「つくたべBOX」を3500円で販売。ホームページやSNS情報発信に取り組む
- 蘇我球場競技用照明設備改修工事(LED化)
- 宮崎2丁目・都町3丁目の雨水貯留槽設置工事で重金属類による汚染土処理の費用を増額
- 支川都川の堤防工事に先立ち軟弱地盤改良を行う
- 来年4月に真砂中学校分校として夜間中学を設置
- 飲食店・宿泊施設の需要回復のため、飲食費の半額分に利用できるクーポン券を販売・抽選配布



「千」には11の農作物と5つの加工品、3つのサービスが効果的なアピールを

千葉市の食のブランド「千」



食のブランド「千」
第1回認定品の野菜や加工品

また、今回は首都圏住民に向けた料理教室が企画されていますが、千葉市民に向けた情報発信で、ブランド認知度を高めていくことも要望しました。

生活支援特別給付金がDV避難家庭に届くように

議案に対する市民ネットワークの意見・要望



常任委員会で市民ネットワークの議員が発言しました

山田京子(保健消防委員会)

お風呂屋さんを支えたい!

燃料費の高騰が中小事業者を圧迫していますが、物価統制令により、一般公衆浴場(いわゆる銭湯)は入浴料金を事業者の判断で値上げできません。今回、事業者支援のため、国の交付金を活用し、重油・ガス使用事業者には60万円、薪のみの使用事業者には15万円を給付する議案が承認されました。

家庭に浴室がある世帯は97%を超え、市内に銭湯は10カ所しか残っていませんが、コミュニケーション広場としての役割も担っていると考えます。



「地域のつどい・ふれあい入浴事業(※)」も市民の皆さんにもっと活用していただき、銭湯文化を消さないようにしたいと思います。

※毎週日曜日に高齢者が100円、小学生以下が無料で銭湯に入れる千葉市の事業です。

(参考)

通常入浴料金：大人450円
小学生170円、乳幼児70円

詳しくはこちら→



岩崎明子(環境経済委員会)

新しい千葉公園体育館に期待!

新築中の千葉公園体育館では外構工事等が予定より遅れたため、来年4月の体育館利用開始以降も駐車場部分の工事が継続します。利用者の安全を第一に工事を進めるよう求めました。また、体育館内に新設されるキッズルームを活用して、子どもを預けてスポーツを楽しめる講座等を開催し、スポーツに親しむ市民の裾野を広げるよう要望しました。

千葉市美術館作品のデジタル化

2025(令和7)年に開館30周年を迎える千葉市美術館ですが、全作品を順次デジタル化し、ホームページ等で閲覧できるようになります。デジタルで作品を見た方が実物を見に来館したくなる工夫が必要です。スマホがあれば無料で聞ける音声ガイドの新規導入をアピールすること、内容の充実も図ることを求めました。



浮世絵コレクションが特長の千葉市美術館

松井かよ子(教育未来委員会)

市立真砂中学校 かがやき分校に決定

2023年4月に開校する夜間中学の名称が決まりました。義務教育を修了しないまま学齢期を経過した人、不登校など様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した人、日本や他国で十分に義務教育を受けられなかった外国籍の人などを対象に学び直しができる公立中学校です。入学者一人ひとりの希望や願いにこたえることができるよう柔軟にカリキュラムを整え、開校について広く市民に知らせるよう要望しました。

給食費の負担軽減

保護者負担を増やさず、かつ、現在の栄養バランスや量を確保できるように、学校、保育園、幼稚園などへ給食食材費を補助することが決まりました。



1食14円から21円が市から補填されます。材料費の高騰が保護者や子どもへのしわ寄せにならないよう求めました。

千葉市に政策提言！一般質問から



←録画は
こちらから

松井かよ子

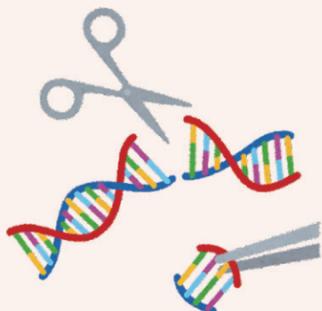
「小規模多機能型居宅介護事業所」の充実を

デイサービス、お泊り、訪問看護・介護を組み合わせ、24時間・365日一定額で使うことができる介護保険サービスの一つです。在宅を基本としつつ、サービスを選択できます。本市でも28か所のあんしんケアセンター圏域に1カ所以上の整備をすすめています。事業展開の不安などから9圏域には事業所がありません。介護報酬の増額など、運営面での改善がはかれるよう、国への働きかけを求めました。

「ゲノム編集食品」の導入はしないで！

ゲノム編集食品とは？

ゲノム編集食品は、遺伝子の狙った部分を編集技術によって切り取り、改変した食品のことです。通常よりも大きな「身の量が1.2倍の真鯛」などが知られています。2021年9月、ゲノム編集技術によってつくられた、高GABA(ギャバ)トマトの苗と肥料をデイケアや小学校に無償提供する計画が発表されました。市にはこれまで提供についての働きかけはないそうですが、今後、このような企業からの働きかけがあった場合、国に届け出され、流通が認められた苗であれば、取り扱い、各学校や保育所において判断されるものと考えられます。



気づかぬうちに給食、食卓に…？

国は、ゲノム編集農産物については、自然界で生じる突然変異と同じで、科学的には従来の育種と変わらず区別できないことから、表示の義務を課していません。市でも、学校や公立の保育所・認定こども園の給食において、他の食品と異なる取り扱いをするものではないと考えているそうです。ただし、自治体経由での提供がすすめば、家庭や学校で子どもたちが、「無意識のうちに」ゲノム編集食品を口にするようになります。

ゲノム編集食品の検証と情報開示を！

ゲノム編集によってつくられた農産物については、他の遺伝子、人体、地域の生態系への影響などまだわからない面が多く、さらなる検証と情報開示の必要があります。不安を感じる市民がゲノム編集ではない食品を選べる仕組みを、そして給食など全員が同じものを食べる場面ではゲノム編集食品を導入しないよう要望しました。

議場説明職員の女性比率がアップ！

今議会から、議場で答弁する女性幹部職員が格段に増えました。副市長、保健福祉局長、病院局次長、総務部長に加え、中央区長が一般質問の答弁を行うため着席した時が最大で5人でした(写真○印)。川口副市長は6月末で退任となりましたが、女性幹部職員の増で、女性の働き方に関する庁内の議論が深まることが期待されます。男女に関わらずより働きやすい職場の実現に向けた取り組みが進められるよう、市民ネットワークからも声をあげていきます。



強く求めます。

外交に注力することを

チを押しせないための

に日本に向けたミサイルの発射ス

に日本に

防衛費を増額するのではなく、諸外国

れるかを真剣に考えるのが責務です。

武力より交渉で、いかに国民の命を守

ります。権力者は今ある憲法を遵守し、

利より国が優先されてしまう恐れがあ

い」と言ってくる場合、私たちの命や権

それを、権力を持つ側の方から「変えた

民の命と権利を守るためにあります。

そのもと憲法は権力者の暴走から国

ということ

きる国づくり」に向け、憲法を変えたい

には疑念があります。特に現在焦点

はありますが、変える前提であるこ

めめ議論を盛り上げようとする動きが

あります。憲法についての議論に異論

「緊急事態に関する意見書」

に反対しました

憲法は誰が守るもの？

「緊急事態に関する

国会審議を求める意見書」

に反対しました

政権与党を中心に、憲法を変えるた

めめ議論を盛り上げようとする動きが

あります。憲法についての議論に異論

はありますが、変える前提であるこ

には疑念があります。特に現在焦点

なっているのは「緊急事態に対応で

きる国づくり」に向け、憲法を変えたい

ということ

そのもと憲法は権力者の暴走から国

民の命と権利を守るためにあります。

それを、権力を持つ側の方から「変えた

い」と言ってくる場合、私たちの命や権

利より国が優先されてしまう恐れがあ

ります。権力者は今ある憲法を遵守し、

武力より交渉で、いかに国民の命を守

れるかを真剣に考えるのが責務です。

防衛費を増額するのではなく、諸外国

に日本に

に日本に

チを押しせないための

外交に注力することを

強く求めます。

↑反対した
意見書の内容



↑反対した
意見書の内容

議員とお話しませんか

市民と議員の意見交換会

日時：8月29日(月)10時半～12時

議会棟(モノレール市役所前駅徒歩1分)玄関前集合

意見交換会のお申し込み・お問い合わせは

TEL.043-379-4958 chiba@chibanet.jp 市民ネットワークまで



前回の様子(議場見学)

家具転倒防止対策事業の見直しを



地震から命を守るため、高齢者・障がい者世帯向けに、市は家具転倒防止金具取付け費助成制度をつくり10年が経ちました。ところが制度を利用した事例を調べると、申請手続きに手間も時間もかかり、工事を民間業者に頼むことから料金も安くはないことがわかりました。

ある例では、タンス2棹、4カ所の金具だけで約12,000円の自己負担になります。これでは、年金暮らし世帯などは取り付けを断念せざるを得ません。

全ての政令市を調べた結果、横浜市では委託したNPO法人の建築士による無料代行(器具代以外)をおこなっているほか、名古屋市ではボランティアを育成し、その協力のもと工賃を無料にし、多くの実績(例えば2019年615件)を出しています。

先進例に学び、税金の使い方を見直し、より効果的な防災対策が進むよう要望しました。

空き家は予防に力を入れて！

全国的に課題になっている空き家ですが、予防に力を入れている福井県のNPOと京都市を視察しました。



空き家が放置されている大きな要因は「決断できていないこと」。その決断を促す取り組みが大切とわかりました。まずは、「売る」「貸す」「解体」にいくらかかるかがすぐわかること、家族で話し合い、「家族で使う」「売る」「貸す」「譲る」「解体する」の5つから選択すること、又その話し合いのためのツールが必要です。

千葉市では空き家ガイドブックを作成しましたが、冊子をもらっただけでは、なかなか自ら素早く動くことは難しいと考えます。

京都市では、空き家問題を「自分ごと」「みんなごと」と考えられるように、地域連携型空き家対策促進事業をおこなっています。セミナー開催、所有者調査、空き家マップ作成、所有者への活用提案など地域住民自らがおこない、市も助成しています。空き家対策を個人に押し込めず、地域ぐるみで行うことにより、地域も活性化すると考えます。次期空き家等対策計画の見直しもあるとのことなので、地域を巻き込んだ空き家予防策を検討するよう求めました。